

1. 報告書提出日

2025 年 6 月 20 日第 4 回報告

2. 基本情報

氏名：小林萌子

派遣クラブ・カウンセラー：福山南ロータリークラブ・後藤昇三さま

受入クラブ・カウンセラー：Bristol Breakfast Rotary Club・Ms. Mary Whittington

教育機関 専攻分野：Social Policy

3. 学業面での成果

長く暗い冬のご褒美とも感じられるくらい 4 月以降、こちらは明け方 5 時から夜 22 時くらいまで明るい日々です。日が長くなるとともに人々も活発？になるからか、5 月以降、なかなか移動の多いアクティブな時間を過ごしています。まず、5 月には学会に参加するために 1 週間パリに滞在しました。ロンドン・パリ間を結ぶ電車に乗ると、うとうとと昼寝をしている間に気づけばパリに到着。花の都で過ごす 1 週間はあっという間に過ぎ、とてもパワフルかつ情熱をもって研究に取り組まれる魅力的な研究者たちと多く知り合い、語り合うことができました。その中で、私の指導教官の元生徒で現在、アイルランドの大学で教えられている研究者と話していると「2 週間後に私がオーガナイズしている学会あって、ブリストルから直行便あるからぜひおいでよ。」とお誘いを受けることに。すぐに飛行機を調べてみると、確かに直行便がお手頃な価格であったので、すぐに予約をして行くことにしました。

そしてその 2 週間後、アイルランドのコークという街に到着。パリの学会と違って、2 日だけのそれほど大きくない学会でしたが、その分、参加している人たちと何度も繰り返し顔を合わせる事ができ、密なコミュニケーションをとることができました。直に顔を合わせた対話相手との間に生まれるコミュニケーション空間には、オンラインを通してだけでは得ることができない深さや広がりがあるなとしみじみ思いながらイギリスに戻ってきました。

その後も立て続けに複数のサマースクールやシンポジウムが重なり、新たな出会いを重ねている最中です。5 月からの 1 ヶ月半で、自分の足をつかって実際に会って対話し、ネットワークを広げていく重要性をあらためて実感しています。この学びをこれからも生かしていきたいと思っています。

4. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

相変わらず、とてもお世話になっています。4 月の終わりに急遽、引っ越しをすることになったのですが、数日後に引き受けてくれそうな引っ越し業者の相談をすると「私たちが車出すから大丈夫」とロータリークラブのみなさんに声をかけてくださり、3 名の方がすぐにボランティアとして手を挙げてくださって車で私の荷物を運んでくださりました。急な引っ越しだったので業者が見つかりそうになく、ウーバータクシーで数回往復するしかないかな、と考えていたので本当に助かりました。

また、5 月には福山南ロータリークラブの本瓦さんがイギリスに来られたので、ブリストルから電車で 2 時間ほどのところにある Southampton という街でお会いしました。まさか福山南ロータリークラブの方とイギリスでお会いできるとは思っていなかったもので、とてもうれしかったです。

5. 直面した課題、問題点等

特にありません。

6. 今後の課題、目標

意識してネットワークを広げながら研究を進めていきます。

7. その他特記事項

いつもご丁寧なご対応、本当にありがとうございます。



パリの学会後、指導教官や仲間たちと夕食を食べながら語り合った後の帰路、撮影しました。



コークの学会では、初日の夜、参加者たちで地元の人気パレスチナレストランで会食するイベントに参加しました。



Southampton で福山の方々と会えるとは予想していませんでした！とても楽しい時間をありがとうございました。